

米沢興譲館高校SSH通信

1年生異分野融合サイエンスA期(FS)

7月9日(木) 13のコースに分かれてフィールドワークやオンラインによる講義・実験等を通じて、各自の深化させたい分野を考え、調べ、学習をしました。

フィールドワークを通して学んだこと

1年普通科 女子

私は米沢の観光について学ぶために、米沢の観光拠点の一つである道の駅に行きました。事前学習で観光業における課題を話し合い、その中で米沢の魅力をうまく発信できていないのではないかという意見が出ました。しかし、実際に道の駅に行ってみると、特産物などをPRするための様々な工夫がされていることがわかりました。また、駅長さんや道の駅を利用している人に利用者数の変化や何を目的として米沢に来ているのかなどを質問したことで、米沢の観光業の現状を把握することができました。今回のFWで、実際に自分の目で確かめることがとても大切なのだと学ぶことができました。これからは、今後道の駅を利用してどのようなことを実施するのが有効なのかを話し合い、米沢の観光業についてさらに理解を深めていきたいです。



FS「アントレプレナー養成コース」では、米沢市アルカディアにある“有機エレクトロニクスイノベーションセンター”にて、山形大学客員教授松田修氏より『デジタル時代へ地頭力を磨く』というテーマのもと“これからの社会でどのような力が大切になるのか”、“そうした力を身に付けるためにはどうすればよいか”という内容で研修をおこないました。

一步踏み出すことから

1年探究科 女子

「一步踏み出してから考えればいい」と先生が仰ったこの言葉を、私は素直に受け入れることができなかつた。なぜなら考える前に動くということは、今までの私にとって、失敗を意味するものだったからだ。しかし、講義を受けていく中で、論理的に物事を考えること、世の中の変化を的確に読み取り、対応することがいかに大切かを学び、一步踏み出してから考えることが、失敗に結び付くわけではないと考えを改めることができた。

一步踏み出して物事を論理的に考えようとしたときに、私に足りないものは「知識」と「語彙」です。それらを多く自分のものにするために、私はより多くのことを学ぶ努力をしていきたいです。

3年ハイレベル実験講座

3年ハイレベル実験講座

3年探究科 男子

7月8日、期末テストが終わってすぐに3年ハイレベル実験講座が行われました。理数探究科の3年生が参加し、物理、化学、生物の3グループに分かれてそれぞれの実験を体験しました。

私が参加したのは物理グループで、ちょうどその時期に習っていた電気の実験を体験しました。授業を聞いているだけでは、文字情報と図から理解しなければならないのですが、実際に手を動かし、実験を行い、結果を生で見ることによって、よりリアルな感覚で頭に入ってくるのを感じました。また、普段はできない、豆電球をショートさせるという実験も行い、知見を広めることができました。

今回のハイレベル実験講座は、改めて生の体験の重要性を再認識出来ました。これからの学習にしっかりと生かしていきたいです。

145

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

